

第1回

京都市における

道路構造の

技術的基準

検討委員会

1. これまでの経緯
2. 現状と課題
3. 独自ルール案
4. スケジュール

『地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律』



国



から



地方へ

道路構造の技術的基準

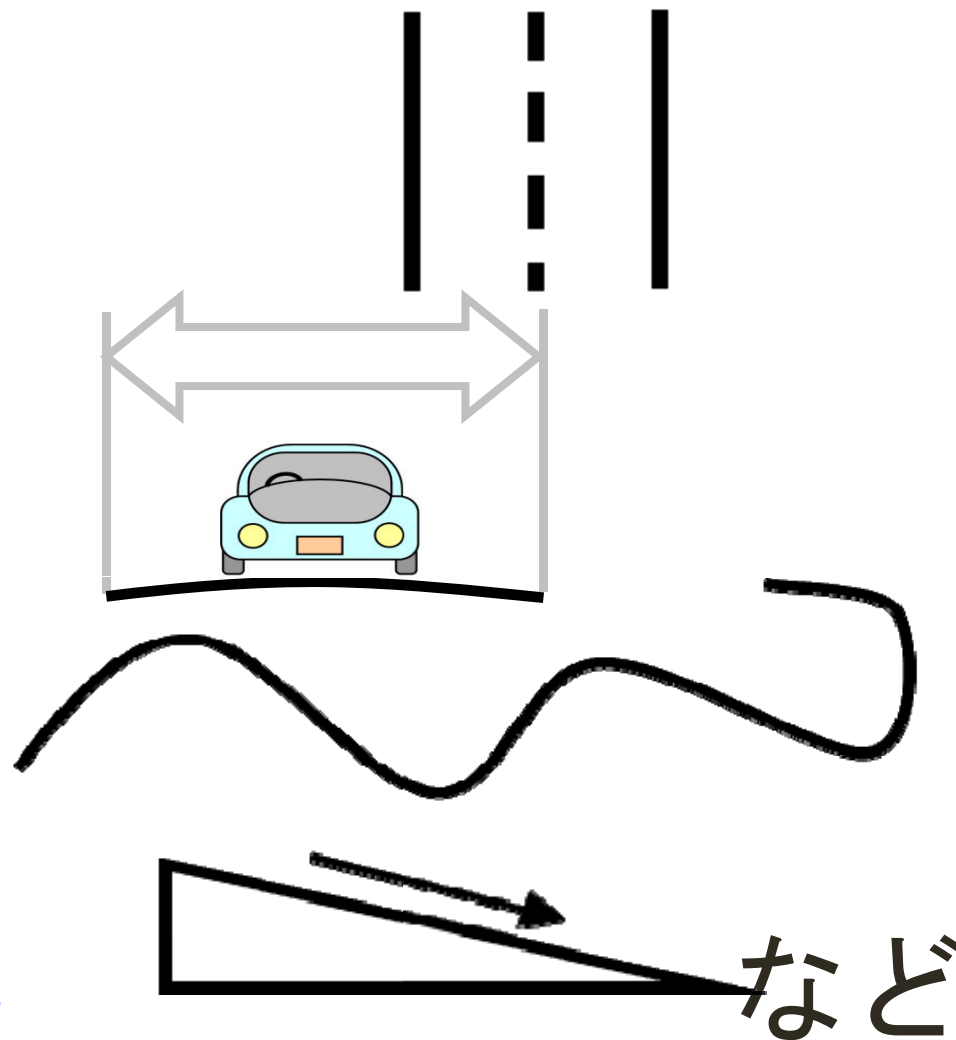
条例で定める事項

車線数

幅員

線形

こう配

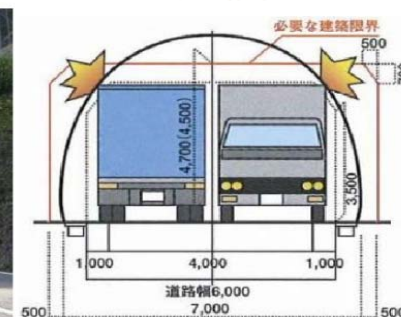
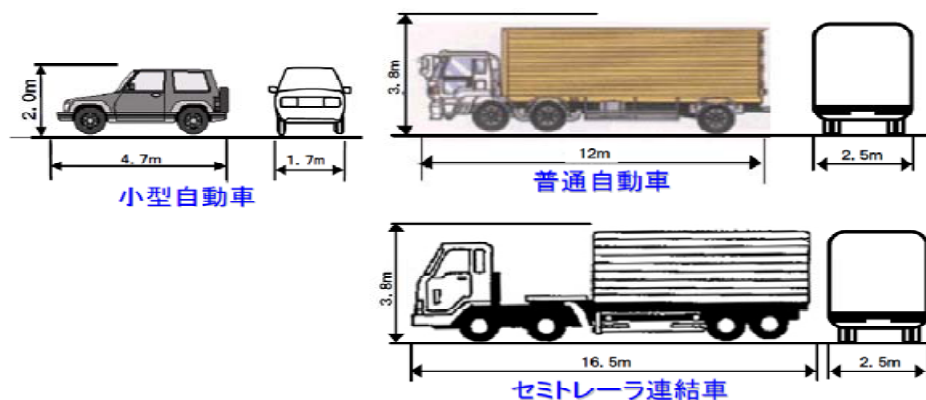


条例で定めない事項

設計車両

建築限界

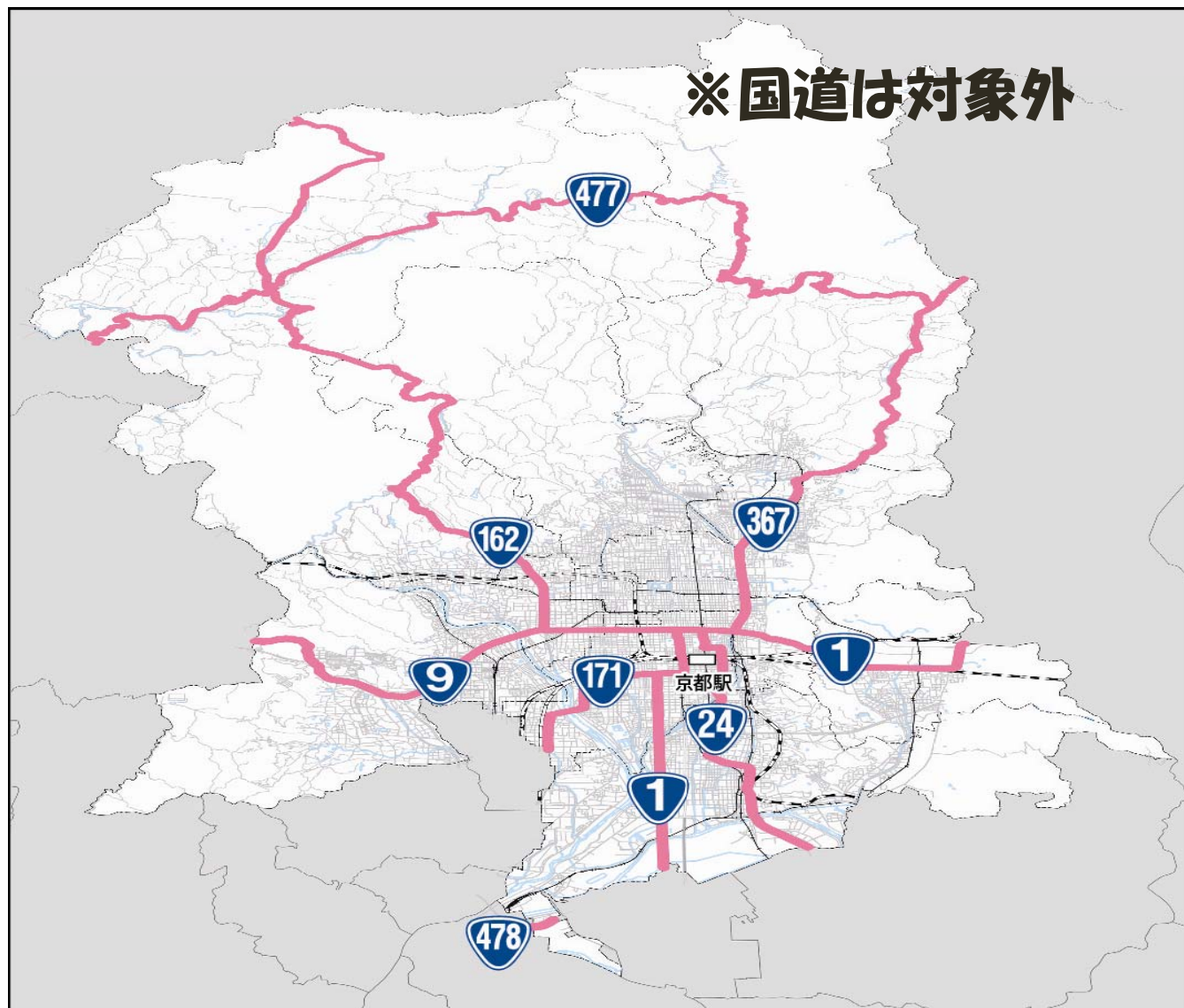
荷重条件



普通道路	2 4 5 k N
小型道路	3 0 k N

対象路線

京都市が管理する**府道**、**市道**



意見聴取会



平成23年12月19日開催

～主な意見～



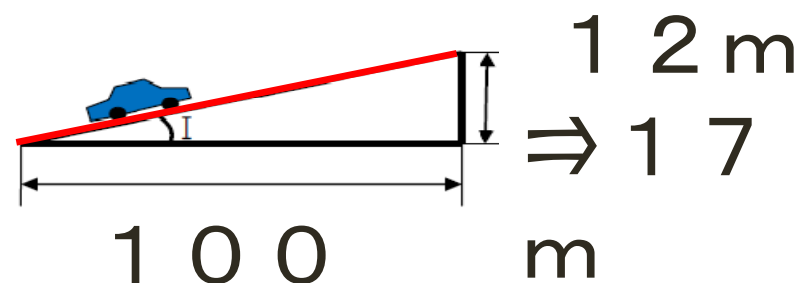
- ・ 自転車と歩行者を**明確に区分**した方がよい
- ・ まず**交通ルール**の徹底が必要
- ・ 車を幹線， 自転車を細街路に
- ・ 山間部の危険・問題箇所の**地元**意見を

他都市独自ルール

①長崎市

縦断こう配の最大値

12% $\Rightarrow$ 17%



②愛知県

停車帯幅員の標準値

2.5 m $\Rightarrow$ 1.5 m



③岐阜県

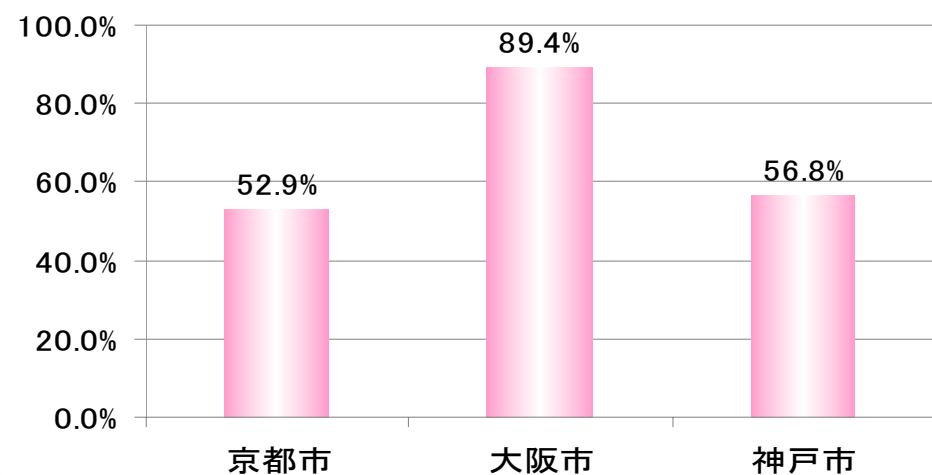
片側1車線でも

中央分離帯設置可

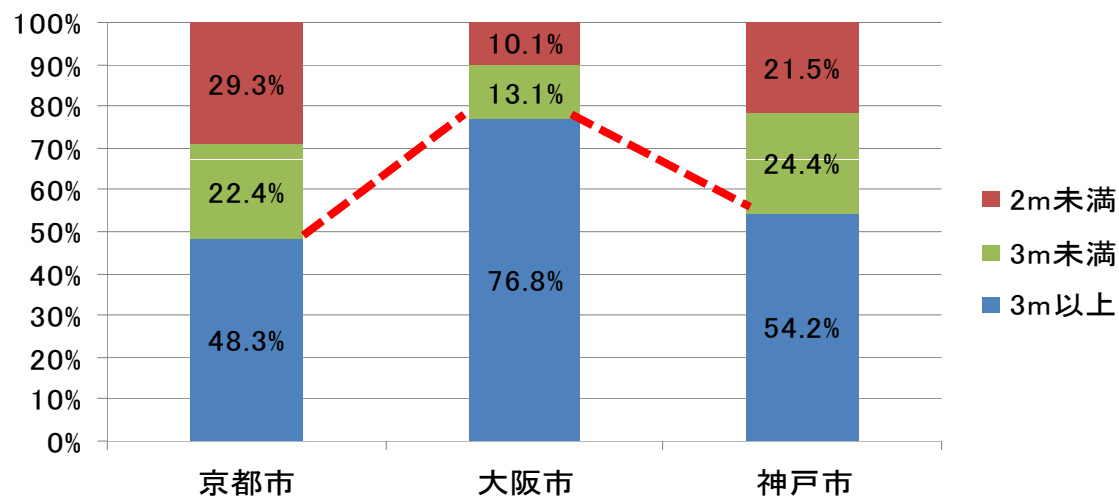
2. 京都市の 現状と課題

京都市の道路状況①

「歩道（自転車歩行車道含む）」
設置率が**低い**，幅員が**狭い**



設置率



幅員別割合

京都市の道路状況②

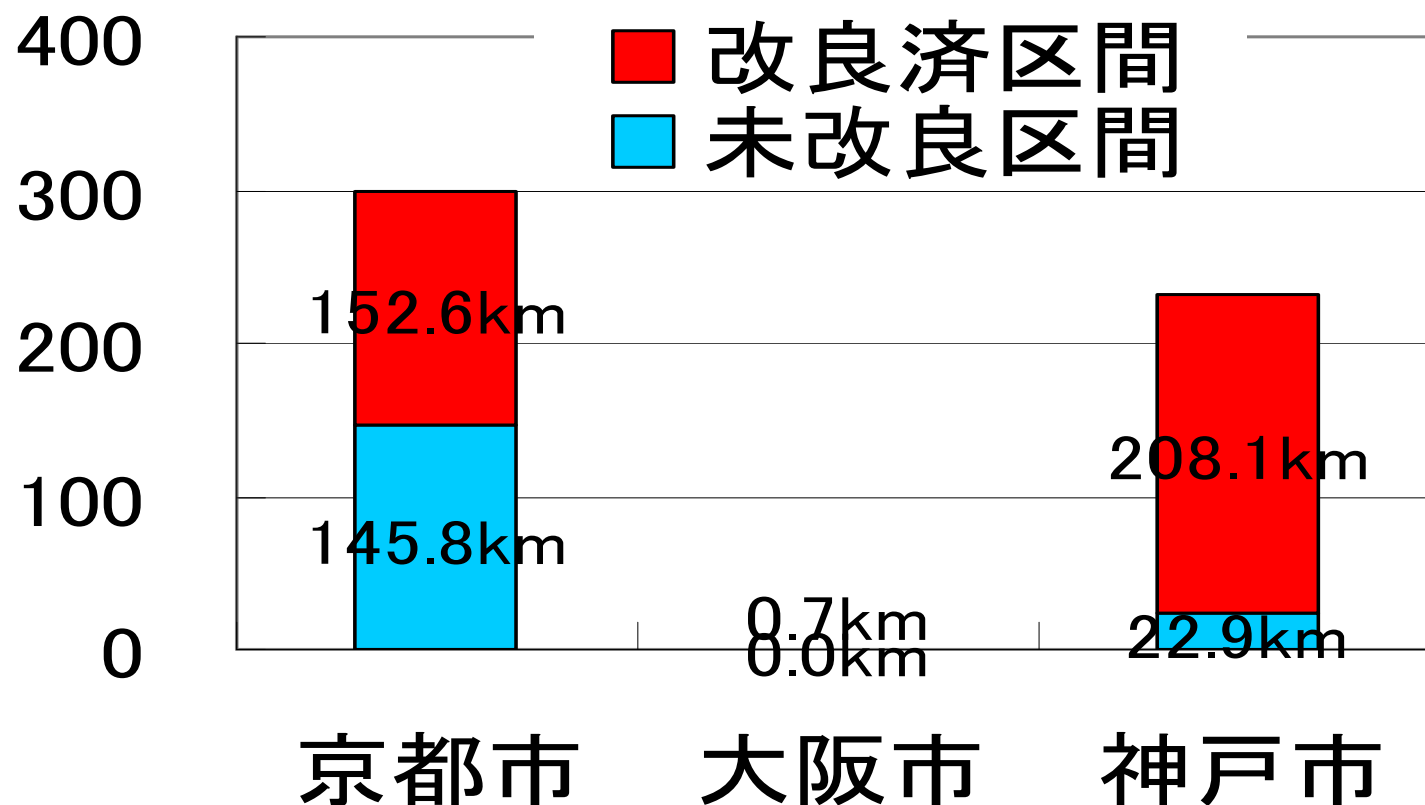
自転車保有率が高い

順位	都道府県	保有台数	
		総 数	人口100人 あたり
1	埼玉県	5,436,000台	76.92台
2	大阪府	6,515,000台	75.14台
3	東京都	8,999,000台	72.21台
4	京都府	1,656,000台	64.72台
5	千葉県	3,763,000台	61.78台
6	兵庫県	3,390,000台	60.73台
7	神奈川県	5,315,000台	60.41台
8	香川県	606,000台	59.45台
9	滋賀県	817,000台	59.29台
10	愛知県	4,084,000台	56.83台
	全国	69,099,000台	54.38台

出典: 自転車産業振興協会より(H20データ)

京都市の道路状況③

山間部の未改良区間が多い



出典:平成22年度道路交通センサス」より
なお、対象路線は、DID区間等を含まない地方部道路について算定

まとめ

都市部

- ・ 歩道・自転車歩行車道の設置率が低い，幅員が狭い
- ・ 自転車保有率が高い

山間部

- ・ 未改良区間が多い

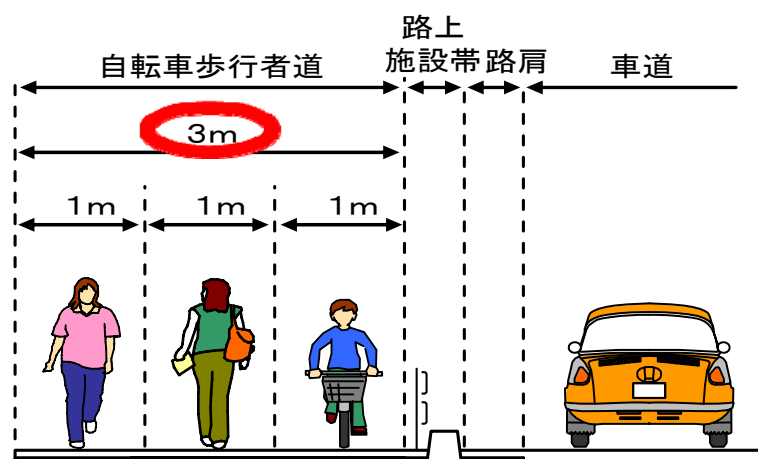
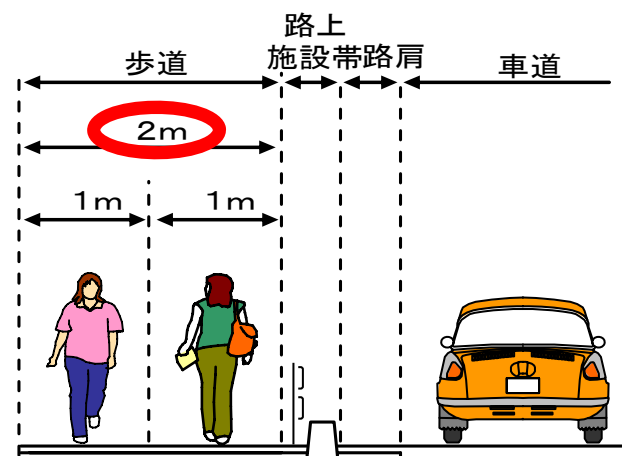
3. 独自ルール案

1 歩行者及び自転車の
通行空間

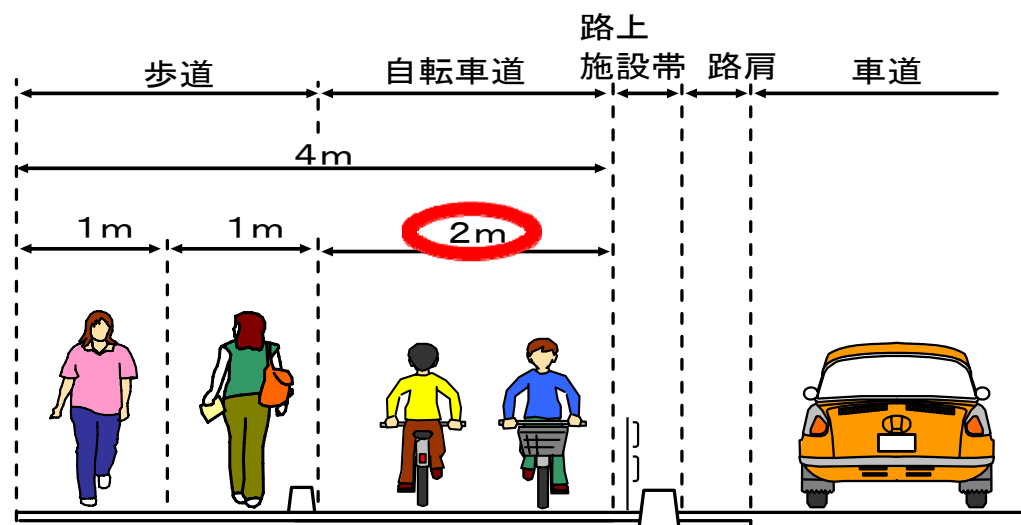
2 例外を認める規定

歩行者及び自転車の通行空間

安全で良好な空間の確保



歩行者及び自転車の通行空間



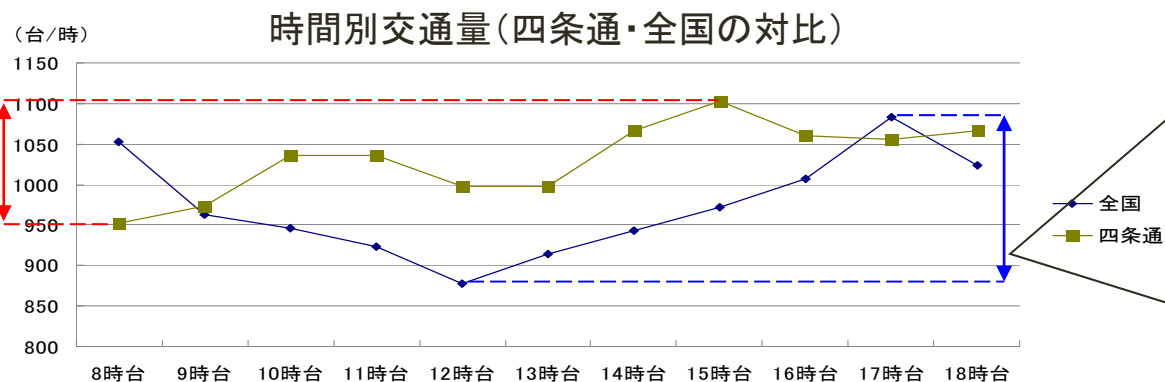
自転車通行空間



例外を認める規定（都市部）

○路線特性に応じた車線数の決定

ばらつきが小さい

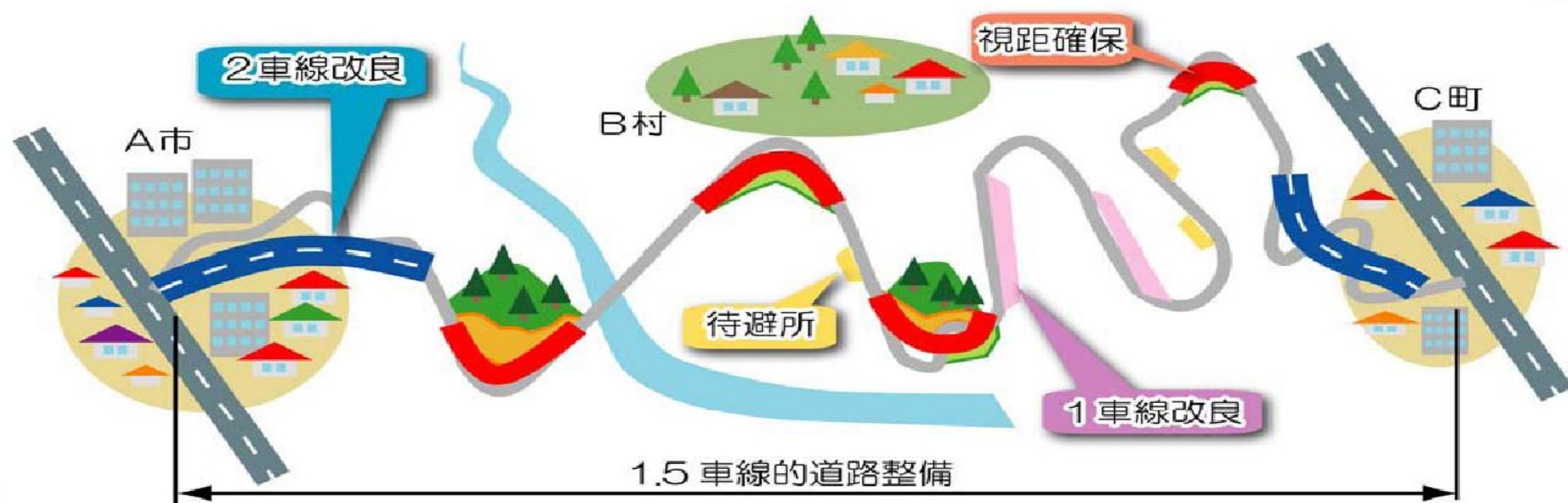


四条通

ばらつきが大きい

例外を認める規定（山間部）

府道は2車線 ⇒ 1車線＋待避所



3. 独自ルール案



4. スケジュール

平成24年9月	第2回検討委員会
10月～11月	パブリックコメント実施
11月	第3回検討委員会
12月	条例案作成
平成25年2月	市会上程
4月	条例施行